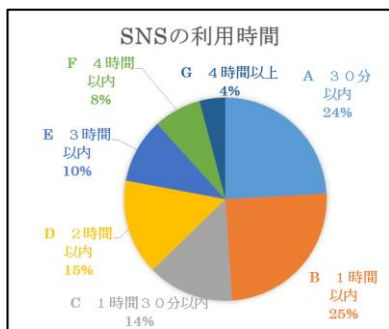




「SNS利用宣言」を発出

▼学校現場においては、今年度、1人1台のタブレットパソコンが導入され、本校においても、授業で本格的に活用を始めています。▼また近年、スマートフォンやソーシャルネットワーキングサービス（SNS）が急速に普及し、子供たちにとっても、ツイッターやインスタグラム、ライン等は身近な存在となっています。その一方で、SNSによる非難の書き込み（「炎上」と呼ばれる現象）やネット依存といった新たな問題も社会問題化されています。▼このような中、本校では生徒会が中心となって、SNSの利用について考える機会がありました。まず初めに行ったのが、本部と保健委員会による「実態調査」です。この結果、169人（89%）の生徒がSNS（LINE：139人、TikTok：91人、ボイスチャットゲーム50人等）を利用していることが分かり、その利用時間については、下のグラフに示すような驚くべき結果がでました。また課金をしたことのある人も97人いました。▼さらにSNSの利用にあたって、「やめたいと思っても相手や仲間がいてやめられない」「無断で写真が使われたり、悪口を書き込まれたりしたことがある」といった悩みやトラブルがあることも判明しました。▼その後、2度の学級討議（SNS学活）を経て策定されたのが、「市川中SNS利用宣言」です。この宣言は「設定理由」にあるように、自分のことも相手のこともお互いに思いやりながら、全校で団結して取り組むことを目指しています。▼私自身は、これだけの取組がこの短期間によくできたと感じています。そして、これを機に、各家庭においては、ネットワーク機器（ゲームを含む）の利用時間や場所を決めるなど、安心・安全に使うための「我が家のルール」を作り、お子さんと確認してほしいと思います。



市川中 SNS 利用宣言



設定理由

今年度から、市川中学校の授業でタブレットの使用が始まりました。スマホやタブレットは、非常に便利なものであり、場所や時間の概念を越え、考えや思いを伝え合ったり、写真や動画を共有したり、あらゆることを可能にしてくれるものです。これからは、便利なものを使って、私たちの生活を豊かにしていく力も必要であると考えます。

SNS アンケートの集計結果から、市川中では9割近くの SNS 利用状況があり、SNS が身近に利用されていました。安全に利用していくためには、利用の仕方について全校で確認していく必要もあります。自分のことも、相手のことも互いに思いやりながら、全校で団結して取り組むことを目指していきたいです。

具体的な内容

- ネットの危険性を確認し、電話番号や住所などの個人が特定されてしまうような投稿をしない。
- 相手がいることを意識して、やりとりを22時までに行う。
- 写真を上げたり、課金したりするときは保護者に許可をとる。

具体的な取り組み

- ・ 各学級に「市川中 SNS 利用宣言」を掲示する。
- ・ 市川中 HP に「市川中 SNS 利用宣言」を掲載し、家庭や地域に発信する。
- ・ SNS 利用に関する講話を聞く。
- ・ （各クラスの話し合いによる取り組み）

令和3年度 市川中学校生徒会

陸技会、がんばりました

▼6月21日（月）峡南地区総合体育大会陸上競技の部が甲府市の J I T リサイクルインクスタジアムで行われました。峡南地区の中学校9校が参加し、本校からは総勢66名が参加しました。▼放課後の限られた時間での練習となりましたが、精力的に取り組む、素晴らしい結果を残しました。特に共通女子では総合優勝に輝きました。競技の様子についてはホームページに掲載してありますのでご覧ください。

